

発根生育促進液肥 GABA

「苗づくり半作」を具現化する機能性肥料

根づくりに不可欠な各種成分を含有させため、複数のアミノ酸肥料（ストレス耐性を改善する適合溶出含有物）をベースに、亜リン酸、クエン酸、フルボ酸、酢酸、海藻抽出エキス、微量元素等 12 種類の原料を選別し最適配合した機能性肥料です。育苗・定植期の「根づくり」と、収穫期までの「根痛みや各種ストレス緩和・生理機能の活性化」により品質と収量の改善が期待できます。



肥料保証成分 (%)

本製品は、植物の健全な生育と高品質・安定収量をサポートするため、バランスのとれた肥料成分を配合しています。

成分	含有量 (%)
窒素全量 (N)	1.6
りん酸全量 (P ₂ O ₅)	2.8
水溶性りん酸	2.5
加里全量 (K ₂ O)	2.8
水溶性加里	2.3
水溶性苦土 (MgO)	0.15
水溶性マンガン (Mn)	0.045
水溶性ほう素 (B)	0.045



微量元素分析例 (参考値: %)

植物の健全な生育に欠かせない微量元素をバランスよく配合しています。

成分	含有量 (%)
マグネシウム (Mg)	0.25
マンガン (Mn)	0.06
鉄 (Fe)	0.05
カルシウム (Ca)	0.03
ほう素 (B)	0.05
銅 (Cu)	0.003
亜鉛 (Zn)	0.003
モリブデン (Mo)	0.0015



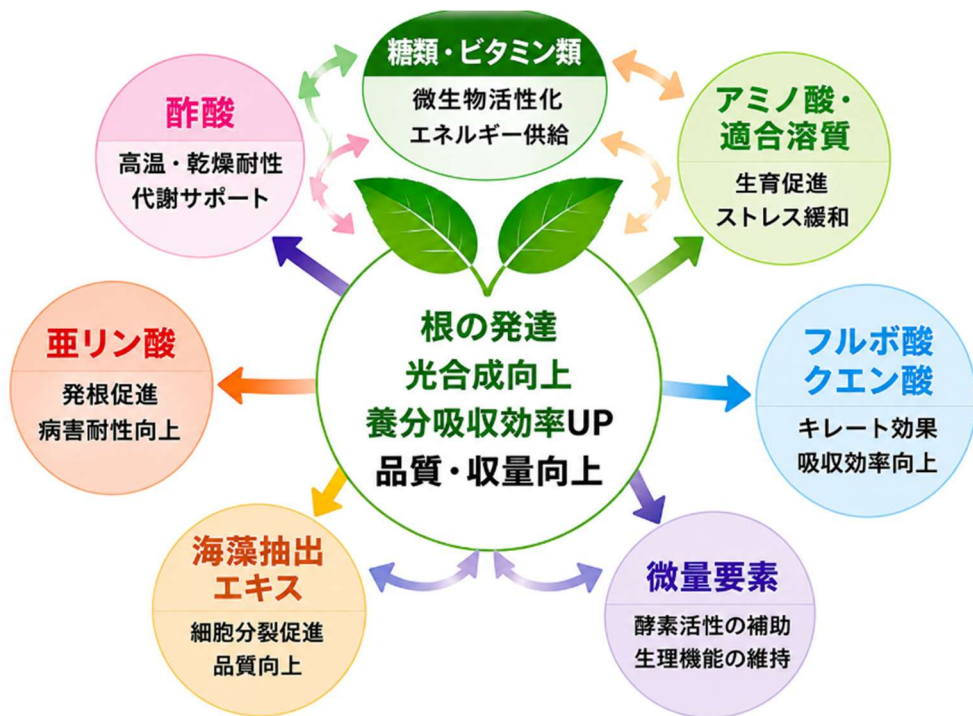
育苗比較写真 (右が当社製品)



イチゴの根量比較
(下が当社製品)



大豆の根量と収量比較
(右が当社製品)



育苗・定植時 : 1000~2000 倍希釈液の灌水又は葉面散布
 ストレス予防時 : 原液 0.3~1 ℓ/10a/ 2~4 回/月 希釈灌水 (内、1~2 回 1000 倍希釈葉面散布)
 ストレス改善時 : 原液 0.5~1 ℓ/10a/ 3~4 回/月 希釈灌水 (根痛時は 1000 倍希釈葉面散布が有効)
 ※ 薄めに多回数の散布 (灌水又は葉面散布) が効果的です。
 ※ 日照不足時は「代謝活性促進液肥 64 酵素」1000 倍との混用が光合成能力を高めます
 ※ 生育ステージ毎に要求量が高める成分は、亜リン酸 Mk2 シリーズ等の混用で補完します。

登録番号 : 生第 104771 号
 肥料の種類 : 家庭園芸用複合肥料
 規格 : 1 kg・10 kg

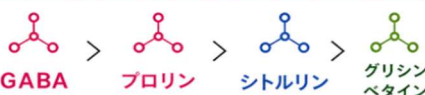
苗づくりは、 環境適応力づくり。

育苗期に植物が各種適合溶質を体験・蓄積することで、
その後の温度・水分・日射などの環境変化に対して、
より健全な生育を維持しやすい状態をサポートします。

適合溶質による【環境適応設計】

育苗期から適合溶質を供給することで、植物が環境変化に適応しやすい生理機能をサポートします。

適合溶質の含有量の多い順



適合溶質の主な働き

- 浸透圧調整・水分保持
- タンパク質・酵素・細胞膜の安定化
- 酸化ストレスの緩和
- 光合成の維持・回復
- 高温・乾燥・低温などへの適応をサポート

ストレスに
強い体づくり

生育の
安定化

収量と
品質の向上



本製品に含まれる機能性アミノ酸（16種類）

（含有量が多い順）

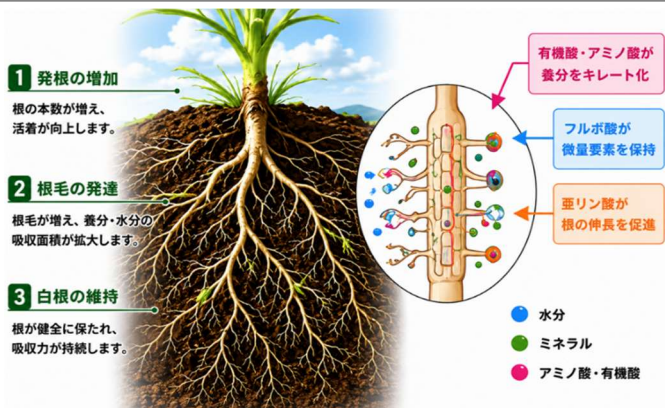


発根・光合成・環境ストレスへの適応・花芽形成・品質向上・生育促進など、植物のさまざまな生理機能を支えます。

期待できる効果

1 発根・活着改善 	2 根の伸長促進、根量の増加 	3 根痛みの改善 ダメージあり → 改善後 	4 日照不足時の光合成促進 不足時 → 改善後 	5 低温期の耐寒性改善による生育改善
6 アントシアニンの発生予防と改善 	7 高温乾燥時のしおれ改善 	8 強光耐性の改善 	9 耐塩性の改善 塩分ストレス → 改善後 	10 浸透圧調整によるストレス耐性の改善 浸透圧の乱れ → 浸透圧を調整細胞を保護
11 活性酵素の抑制 活性酵素 → 抑制・保護 	12 適合溶質（細胞機能の保護物質）補給 プロリン、GABA、グリシン、ベタイン、シトルリン 	13 同化作用や転流の改善 同化産物 	14 開花や着果の促進 	15 代謝効率改善による品質・収量の向上

本製品に含まれる機能性アミノ酸（16種類）が、植物のさまざまな生理機能を支え、健全な生育と高い品質・収量につながります。



【使用上の注意点】

- ・育苗期や定植期以外の通期でもベースの液肥としてご使用ください。
- ・希釈倍率を遵守ご利用ください。500 倍以下の希釈では濃度障害が発生することがあります。
- ・日中高温となる場合は夕刻に散布してください。
- ・希釈液は速やかに使い切ってください。
- ・液肥や農薬と混用する場合は沈殿等や植害がないことをご確認下さい。
- ・開封後はしっかり栓を閉じ、直射日光の当たらない冷暗所に保管します。
- ・お子様等が誤飲しないよう区分保管をお願いします。